



## 今月の話題

- チリ国中南米防災人材育成拠点化支援プロジェクト詳細計画策定調査
- グローバル地震観測コース研修旅行
- グローバル研修旅行研修生レポート
- 国際地震工学研修・普及会議、東京で開催
- IISEE刊行物及びウェブサイト

## 研修 データベース

IISEENET (地震防災技術情報ネット)

IISEE-UNESCO レクチャーノート

Eラーニング

シノプシス・データベース (修士論文概要)

Bulletin データベース

## チリ国中南米防災人材育成拠点化支援プロジェクト 詳細計画策定調査

国際地震工学センター 上席研究員 小豆畑 達哉

2015年度より、国際協力事業団(JICA)とチリ国際協力庁(AGSI)との協議結果に基づき、「中南米及びカリブ海諸国防災人材育成拠点化支援プロジェクト」がチリで実施される予定です。本プロジェクトは、チリを拠点に、中南米及びカリブ海諸国での防災に係る人材及びネットワークを育成、強化することを目的としています。



南米一の高さのコスタネラセンタービル  
-チリ・サンチャゴ-

本プロジェクトの準備のため、1月25日から約2週間で、JICAより、調査団をチリに派遣することとなりました。

建築研究所においても、本プロジェクトのうちの2つの研修コース(「耐震構造」と「応急危険度判定」)に協力する予定であることから、小豆畑上席研究員が建築研究所を代表して本調査団に参加し、研修のための実施機関の選定、スケジュール等についての調査を行いました。

今回の調査の結果、「耐震構造」についての研修を、カトリカ大を実施機関として、2016年3月以降に、若手の研究者を対象に実施すること、また、「応急危険度判定」についての研修を、公共事業省を実施機関として、2015年9月以降に、行政担当者を対象に実施することが決定されました。

日本側が支援する部分も含め研修内容の詳細については、建築研究所と実施機関との間で、今後、さらに検討することとしています。

## グローバル地震観測コース研修旅行

国際地震工学センター 上席研究員 原 辰彦

グローバル地震観測研修の広島、神戸、淡路島への研修旅行に随行しました。

研修生が地震、地震災害、地震災害からの復旧・復興、原子爆弾使用の結果について理解を深められるように、この研修旅行がカリキュラムに組み込まれています。

## 地震データベース

2011年3月11日東北地方太平洋沖地震

### 地震情報

宇津カタログ(世界の地震被害)

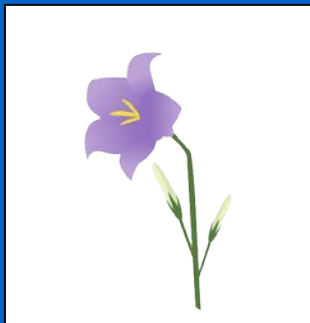
地震カタログ(世界の大地震の震源メカニズム、余震分布等)

## 論文募集

IJSEE Bulletinは、現在地震学、地震工学、津波に関する論文を募集しております。開発途上国に関するものを対象としていますが、それに限らず募集しています。

送って頂いた未発表の論文は、編集委員会と専門家による査読を行います。投稿料は無料です。

是非チャレンジして下さい。



2月5日に、我々は原爆ドームと広島平和記念資料館を訪問しました。次に神戸に移動し、人と防災未来センターを見学し、1995年の阪神淡路大震災について学びました。

翌6日には、淡路島の北淡震災記念公園にある野島断層保存館を訪問し、保存されている地表に現れた断層を見学しました。

2名の研修生の研修旅行に関するレポートがこのニュースレターに掲載されています。



グローバルコース研修生(広島・原爆ドーム前)

## グローバル研修旅行研修生レポート

(1) Ms. Yaxuan HU (中国)

2月4日から7日にかけて、グローバル地震観測コース研修生は、広島、神戸、京都に研修旅行に行きました。私たちはこの研修旅行で多くのことを学びました。広島平和記念資料館では、展示物に衝撃を受けました。1945年8月6日、広島は原爆によって壊滅的被害を被り、人々は爆弾によって精神的にも肉体的にも苦しみに苛まれました。人々は失望し、経済は衰退しました。人は不運から学ばなく

てはなりません。核兵器のない世界のために、私たちの知識を生かして何かをしなくてはなりません。私たちの願いは全ての核兵器を排除し、広島が心から願う真の平和な国際社会の実現です。



続いて、人と防災未来センターと野島断層記念館を見学しました。1995年1月17日、兵庫県南部に壊滅的地震が発生し、突然約6,500名の命が奪われました。センター・記念館とも、案内の方が、ご自身の経験を交えた詳しい

説明をして下さいました。また、同行の原上席研究員も、注意深く専門的知識を交えた説明をしてくださいました。私たちは、断層を横切るあぜ道、生け垣、小道の水平右横ずれと、本来の位置からずれた道路や二つに分かれた断層の姿を調査することができました。鮮烈で濃厚な授業でした。

研修旅行全般に亘り、同行した佐久間研修監理員が色々と配慮してくれました。土曜の夜、私たちの有意義な研修旅行は無事に終了しました。

(2) Mr. Muhammad Joned (パキスタン)

2月5日及び6日の関西方面(広島、神戸)への研修旅行は大変有益なものでした。原爆ドームと広島平和記念資料館を視察し、核兵器の使用は人類に壊滅的な結果をもたらすということをはほぼ全員が十分理解しました。また、「核兵器と人類は共存不可能」という強いメッセージは、全ての人に語り継がれなければなりません。人類を救うためには、核兵器を撤廃する地球規模の取り組みが必要です。



楽しむのは今です。

## 連絡先

IISEE ニュースレターは、IISEEと卒業生の架け橋を目指しています。

ニュースレターへの報告や記事をお待ちしております。皆様のご活躍をお知らせ下さい。

また、皆様の同僚やお友達もこのメーリングリストに登録するようにお誘い下さい。

iiseenews@kenken.go.jp  
<http://iisee.kenken.go.jp>

バックナンバーは下記をご覧ください。

<http://iisee.kenken.go.jp/nldb/>



神戸市の「人と防災未来センター」では、1995年1月17日午前5時46分に発生したマグニチュード7.3の壊滅的な兵庫県南部地震(神戸地震)の被害を見学しました。この地震で学んだ重要なことは、どのように政府と社会がともに働きこの美しい街を再建したかです、こうした取り組みは高く称賛されるべきことです。

この研修旅行は、平和と和解を実現するための一つの方法として歴史をより深く理解させてくれました。

## 国際地震工学研修・普及会議、東京で開催

国際地震工学センター管理室長 飯場 自子

国際地震工学研修・普及会議が、2月20日、東京の四谷で開催されました。同会議は、研修の計画と実施、更に地震学及び地震工学に関する知識及び技術の普及に関し、有識者の皆様からご助言・ご提言を頂くことを目的としております。

会長をお願いしている(独)防災科学技術研究所の岡田義光理事長他13名の委員にご出席頂きました。

委員の皆様のご協力・ご支援に対し IISEE 一同厚く御礼申し上げます。

### IISEE 元研修生の皆様へ:

皆様に大変うれしいお知らせがあります。

**IISEE は、2015 年の国連の笹川賞に推薦されました。**

国連防災笹川賞は、社会的な共同体の中で災害リスク軽減に尽力し、災害リスク軽減を推進した個人又は団体に授与されます。

**IISEE は、現在、その賞の候補者リストに掲載されています。**

<http://www.wcdrr.org/sasakawa>

**33 の個人又は団体の候補者リストの中から受賞者が選ばれ、2015 年 3 月 17 日に仙台市で開催される第 3 回国連世界防災会議の授賞式で発表されます。**

**下記のウェブサイトには是非皆様のコメントをお寄せ下さい。皆様のご支援をお待ちしております。**

<http://www.wcdrr.org/sasakawa/nominees/3923>

よろしく願い申し上げます。

国際地震工学センター



# IISEE 刊行物及びウェブサイト

## ☆刊行物

IISEE では、次の刊行物を出版しています。

### (1) **IISEE パンフレット(和文及び英文)**

パンフレットは8ページの両観音折りで、IISEE の研修とその活動を紹介しています。昨年末に新版が発行されました。

### (2) **国際地震学および地震工学研修年報(和文)**-----年1回

年報は、9月から翌年10月までの研修活動を報告したものです。沿革、研修生及び講師リスト、研修スケジュール、カリキュラム、個人研修テーマ、組織図等を掲載しています。第40号、2013-2014年版が最近発行されました。

### (3) **Bulletin of IISEE (英語)**-----年1回

ブレットインは、年1回、地震学、地震工学、津波に関する知識と技術の交流を目的として出版され、関係機関に配布しています。開発途上国の地震学、地震工学、津波分野に関する論文を掲載しています。内容は、修士論文概要、オリジナルの研究論文、技術論文、評論、報告書に関する寄稿文です。皆様の寄稿をお持ちしています。現在第49号を印刷中です。

### (4) **YearBook (英語)**-----隔年

イヤーブックは、2年に一度研修生のネットワーク促進のために発行され、限定されたメンバーのみに配布されます。IISEE は、地震が多発する開発途上国の地震学・地震工学・津波防災分野の人材を育成することによって、日本政府の途上国支援を促進しています。イヤーブックは、IISEE と研修生との貴重な情報交流を行うために発行されています。現在第32号を印刷中です。

## ☆ウェブサイト

IISEEでは、ウェブサイトを通じて地震及び研修情報のデータベースを公開しています。(http://iisee.kenken.go.jp/).

### (1) **IISEE Net**----- (http://iisee.kenken.go.jp/japanese/net/)

IISEE Net (地震防災技術情報ネット) は、建築物の地震災害軽減情報を公開しています。主に開発途上国の技術情報(耐震設計基準、地震ネットワークと活動、地震被害、マイクロゾーネーション)です。

### (2) **建築研究所強震観測** ----(http://smo.kenken.go.jp/ja)

全国70カ所以上の最新の強震観測記録を提供しています。建築研究所では、1957年から強震観測を実施しています。

### (3) **その他**

**IPRED (ユネスコ共同プロジェクト)** ----- (http://iisee.kenken.go.jp/japanese/?p=ipred)

